

2023年度 公立大学法人大阪第5回役員会議事要旨

日 時：2023年7月12日（水）9時30分～10時05分

場 所：阿倍野キャンパス医学部学舎1階応接室

構成員：福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、中村理事、
宮部理事、帯野理事、生駒理事(欠席)、藤沢理事(オンライン)

陪席者：西田監事、白井監事、市橋事務局長、大久保事務局次長、石井事務局次長、
船野学長室長、千田総務部長、柴山企画部長、富宅医学部・附属病院事務局長代理兼
事務局事務部長、中井総務課長

【審議事項】

1 2023年度補正予算について（目的積立金の活用：医学部附属病院の施設改修）

担当理事、財務課長および経営企画課長より、2023年度補正予算について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・予算計上において減価償却費についてはどのようになっているのか。また、法人税等はどうになっているのか。
- ・公立大学法人の会計処理において減価償却費は損益計算書には出てくるが、予算においては、収入（キャッシュ）の範囲内で、支出を組むことになっており、減価償却費は、キャッシュの変動がない会計上のみの処理のため、予算上は計上しない仕組みとなる。また、公立大学法人は、法人税の非課税団体であり、消費税のみを納付している。
- ・現在は全診療科において当直医を配置し、3次救急以外の患者を各診療科で受け入れているが、働き方改革に伴う当直体制の見直しにより、チーム制で当直を行う体制をとることとしている。その受け入れにHCUを活用することにより効率的な受け入れ体制を確保し、かかりつけ救急患者の増加を図りたいと考える。
- ・医療機器は技術革新が激しいので、予算の範囲内で可能な限り計画的に最新の機器への更新を進めている。

【報告事項】

1 2022年度 内部監査報告書について

監査室長より、2022年度 内部監査報告書について報告がなされた。資料のP.1内「3. 監査対象部局等」へ「大阪公立大学工業高等専門学校」を追記することとした。

<主な意見等>

- ・放射線施設・装置の管理や毒物・劇物等薬品の管理の点については、二度と同様の事例が発生しないよう大学として適切に対応し、具体的な改善策を提示していただきたい。

2 2023年度 内部監査計画について

監査室長より、2023年度 内部監査計画について報告がなされた。

<主な意見等>

- ・研究費や外部資金については、獲得した部局等が執行するのか。
- ・外部資金の管理方法としては、システムへ研究者が入力し、経理課で処理を行い、研究推進課で一括管理している。

【その他事項】

1 非常勤理事からの意見、質問等について

非常勤理事との意見交換を行った。

<主な意見等>

- ・内部監査で発覚しない不正もある。法人では内部通報窓口やホットライン、それに対する通報者を守るルールはどのようなものがあるのか。
- ・公益通報者保護法をもとに法人で公益通報規程を策定しており、通報窓口で受け付けた内容については、委嘱している外部の顧問弁護士にご指導、ご助言いただいている。通報内容は様々であるが、早急かつ適切に対応している。

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上